

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 10 No.16 2008年9月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2008 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ソフトエイジェンシー、IP-PBX ソフトウェアと SIP 対応電話会議端末を組み合わせた VoIP 電話会議システムを発表

株式会社ソフトエイジェンシー（栃木県小山市）は、IP-PBX ソフトウェア「Brekeke PBX」の会議機能に、クリアワン社製の SIP 対応の電話会議システム「MAX IP」を組み合わせ複数拠点での VoIP 接続を可能とするシステムの販売を開始したと発表。

Brekeke PBX は、PC サーバにインストールすることにより、IP 電話による PBX システムを構築できるシステム。今回提供するシステムは、LAN 上に Brekeke PBX を設置し、MAX IP を複数台接続することで構成する。

Brekeke PBX は、通話保留、録音、転送、スケジュール転送、など電話周りの一般的な PBX 電話交換システムが持つ機能を多数提供している。

一方、MAX IP は、3本のマイクユニット、スピーカー、エコーキャンセラ（3本のマイクユニットそれぞれに対応）、テレフォンインターフェイスが一体化された音声会議システム。MAX IP だけで3者間通話が行え、3本のマイクユニットは、本体から360度の範囲を集音、10人程度の広さの会議室に対応している。また4台までディジーチェーン接続して使用することで集音範囲も30人程度も可能になる。

費用については、「Brekeke PBX BOX(最大10拠点まで)が1台、クリアワン Max IP 2台のシステム構成で48万円(税別)。構成によって導入費用はかわる。その他ブロードバンド回線、プロバイダ費用等は別途ユーザ負担となる。

業界ビジネス動向-国内

WebEx ジャパン、国内企業の環境対策の取り組みに関する実態調査を実施、8割以上が不要な移動や出張があると認識

ウェブエックス・コミュニケーションズ・ジャパン株式会社（東京都港区）は、国内企業の環境対策の実態について、管理

職クラス以上を対象に調査を実施した。今年の7月18日から22日までの5日間、インターネット調査形式にて実施し315件の有効回答を得たと発表。

62.9%の企業が、ゴミ分別・省廃棄物化、省電力化、再生品（再生紙等）利用など全社レベルで環境対策に取り組んでいるという結果が出た。しかし企業規模が大きくなればなるほど積極的になる傾向がある一方、企業規模が小さいほど、環境対策に手が回らない現状があるようだ。その理由として「時間がない（手が回らない）」が50.5%でトップ。

企業が環境対策を積極化させる理由としては、「コスト削減効果（35.6%）」、「低予算で開始できる（23.8%）」、「人的負担の少なさ（21.3%）」、「CO2 やコスト削減効果が数値化できる（18.7%）」などが挙げられていた。

特に中堅中小企業では、十分な時間と予算がないことが環境対策取り組みの阻害要因となっており、積極化には環境対策自体がコスト削減効果をともなうことが必要と考えている。

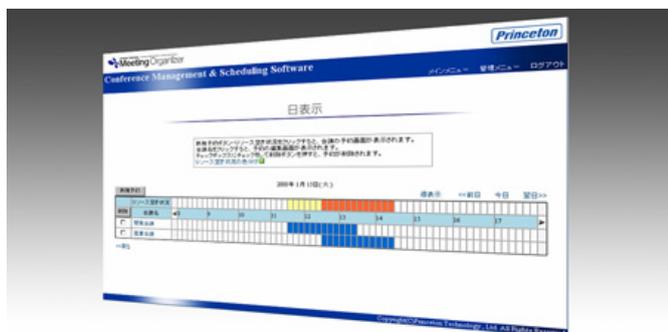
また8割以上（86.5%）が不要な移動や出張があると認識していることがわかった。この回答は、「代替策があれば移動や出張は必要ないと思えるものはどの程度あるか」との問いに対するもの。一方で不要な出張はないと回答したのが13.5%に止まった。この結果から、同社では、出張時の代替手段または出張削減策（出張自体の代替案）に対するニーズが高いと見た。

回答者の中ですでに13.7%は、環境対策を目的にWeb会議を採用したという。またそのうち、ウェブ会議を導入した理由は、「コスト削減（82.2%）」、「生産性向上（52.1%）」、「CO2削減（13.7%）」となったが、コスト削減、生産性向上の取り組みが間接的にCO2削減にも寄与しているようだ。

環境対策について回答者に自己採点を行ってもらったところ、100点満点中40～59点がもっとも多く33.3%を占めた。この項目では、企業規模が大きくなるほど自己採点も

高くなる傾向が見られた。

プリンストンテクノロジーの Meeting Organizer がポリコム社のポリコム・アリーナ・パートナー・プログラムに認定



Polycom RMX 2000 用会議管理＆スケジューリングソフトウェア Meeting Organizer

プリンストンテクノロジー株式会社(東京都千代田区)は、同社が開発した「Meeting Organizer(ミーティング オーガナイザー)」が、ポリコム社の Polycom ARENA Partner Program(ポリコム・アリーナ・パートナー・プログラム)の認定を受けたことを発表した。Meeting Organizer は、同社がポリコム社の多地点会議サーバ「Polycom RMX 2000」向けに開発した会議管理＆スケジューリングソフトウェア。

Polycom ARENA Partner Program とは、ビデオ・音声会議メーカーであるポリコム社が、新しいビデオ会議ソリューションを市場へ提供するために、ポリコム社製品と連携し、ポリコム社のソリューションに付加価値を加えるパートナー製品やサービスを認定するプログラムで、Meeting Organizer は、この認定プログラムの中で最高位となるプラチナ認定を受けている。同社は、10月開催日経BP社 IT pro EXPO 展示会に出展予定。

*Meeting Organizer 製品記事 定期レポート Vol.10 No.13 2008年7月15日号 p4-p7

製品・サービス動向-海外

ナイジェリアのテレビ会議サービスで Vidyo 社の技術が採用

ナイジェリアの Emperion 社が、同社のオン・ダイヤモンド(即

時に簡単にサービスを利用できる)のテレビ会議サービスに、米 Vidyo 社のテレビ会議技術「VidyoTechnology」を採用したと発表。

Emperion 社と Vidyo 社は、今回のテレビ会議サービスの開始は、ナイジェリアの企業の出張費の削減などコストと時間の有効的活用と考えている。

また今後の展開として一般コンシューマ向けとして、国内にキオスクを設置し、テレビ電話通話が行えるようにすることも検討しているという。

* Vidyo 社、H.264/SVC 関連記事 定期レポート Vol.10 No.3 2008年2月15日号 p3-p4

タンバーク社、ノートパソコン対応の HD ビデオ会議ソリューションを初公開

ノルウェーのビデオ会議システムメーカー タンバーク社は、同社の PC ビデオ会議システム「Movi(モビ)」がHD(720p)に対応したことを発表し、サンフランシスコで開催された Intel Developer Forum(インテル・ディベロッパー・フォーラム、8月19日-20日)の基調講演で同システムの一般プレビューを行った。

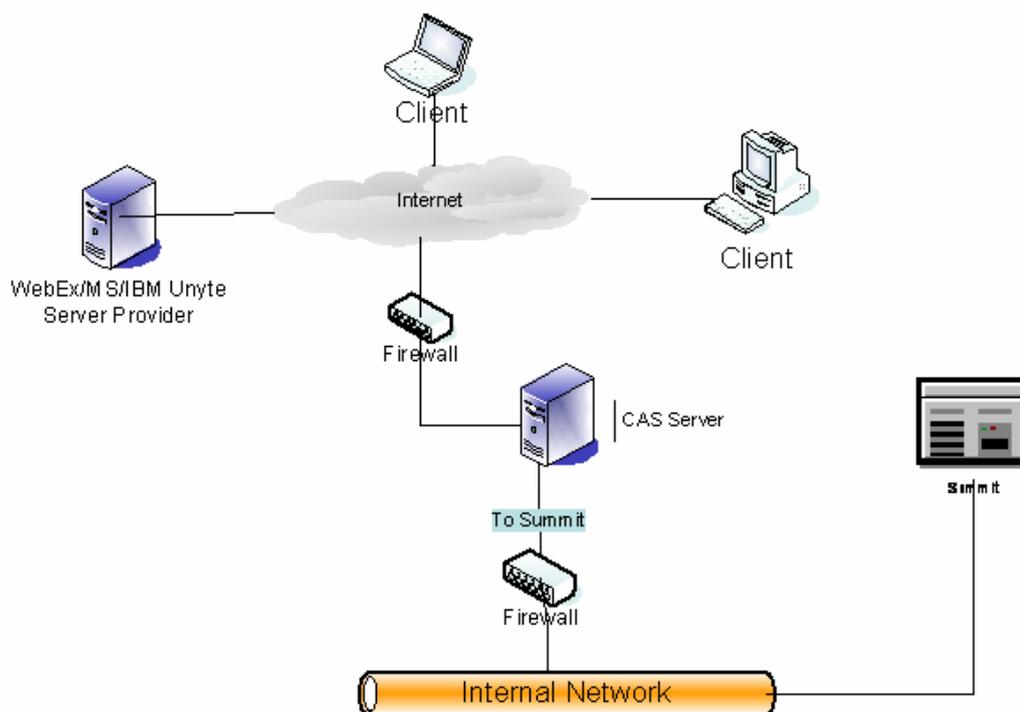
一般プレビューが行われたのは、Dadi Perlmutter 氏の講演(Mobility: Where Will "On-the-Go" Go?、Intel Developer Forum のサイトでアーカイブビデオの視聴が可能)。講演の中で、Intel Mobile Core 2 Quad 搭載のノートパソコン上で機能する「TANDBERG PrecisionHD(タンバークプレジジョンHD)カメラ」と Movi を使用して、解像度720p(30フレーム/秒)のビデオ会議通話のデモを行った。またビデオ会議通話を行っている最中にも、同時に他の複数のアプリケーションの実行も可能という点も紹介していた。

インテル社によると、タンバーク社とソフトウェアチームとの協業を通じ、最適化ツールを最大限に活用することでCPUの利用負荷が低いHDビデオ会議システムを実現したという。

タンバーク社によると、HD対応のMoviは、2009年第一四半期(1月-3月期)にリリース予定。

コンピュネティクス社、多地点音声会議システムと主要ウェブ会議システム/サービスとのインテグレーション発表

多地点音声会議システムなどを開発する米 Compunetix 社(コンピュネティクス)は、同社の多地点音声会議システム「CONTEX Summit(コンテックス・サミット)」が、「IBM Lotus Sametime Unyte(IBM ロータス セイムタイム ユナイト)」、「Cisco/WebEx(シスコ/ウェベックス)」、「Microsoft Live Meeting(マイクロソフト ライブ ミーティング)」の各ウェブ会議システム/サービスとのインテグレーションに対応したと発表。



ずにウェブ会議システム/サービスとの連携が可能になるとともに、システム/サービスの利便性や、多様化するサービス提供事業者などのニーズにも対応できると同社では考えている。

インテグレーション例 (Internal Network 経由で接続されているのが Summit(グレー色)、CAS= CONTEX Access Server

CONTEX Summitとウェブ会議システム/サービスとのインテグレーションによって、CONTEX Summit の音声制御(通話開始・終了、ダイヤルアウトなど)をウェブ会議のインターフェイス(操作画面)から簡単に行えるようになる。

ウェブ会議の音声部分を電話会議で行う場合、通常ウェブ会議の操作はパソコンの画面上で行い、電話会議は電話のダイヤルボタンでの操作を行うという、つまり操作が別々になるが、それら両方をウェブ会議のひとつの画面で簡単に操作できるようにした(ユニファイド)ことが今回のポイント。

インテグレーションは、CONTEX Summit が提供する API

を経由して接続される「CONTEX Access Server(コンテックス・アクセス・サーバ)」を通して実現される。つまり CONTEX Access Server は、両システム間のインテグレーション・ポイント(連携するための接続点)となるとともに、両者間をまたぐ通信の処理を行うことになる。ちなみに CONTEX Access Server Windows サーバーで動作する。

CONTEX Summit は、数千以上対応する大型システムのため、大規模運用を想定した企業、もしくは、電話会議などのサービスを運営しているサービス提供事業者(通信キャリアを含む)に対応している。今回インテグレーションに対応することで、CONTEX Summit の信頼性を損なわ

コンピュネティクス社の日本窓口は、株式会社ジェイ・ティ・エス(神奈川県横浜市)。コンピュネティクスのシステムは世界 28 カ国、50 万ポート設置実績がある。その中で日本でも導入実績がある。

*Compunetix/ジェイ・ティ・エス インタビューレポート Vol.8 No.29 2006年11月11日号 p1-p6

業界ビジネス動向-海外

米 Shortel 社のユニファイド・コミュニケーションソリューション、Vidyo 社のテレビ会議技術を採用

米 Shortel 社が、Vidyo 社のテレビ会議技術を利用したユニファイド・コミュニケーションソリューションを展開する。Shortel 社の「ユニファイド・コミュニケーション リリース 8.0」では、H.264/SVC の利点を活用した Vidyo 社のテレビ会議技術「VidyoTechnology (ビデオ・テクノロジー)」を採用した。

*Vidyo 社、H.264/SVC 関連記事 定期レポート Vol.10 No.3 2008 年 2 月 15 日号 p3-p4

導入・利用事例

SOBA 技術を活用した「成年後見ネット・ライブ相談」サービスを NPO 法人が開始



成年後見ネット・ライブ相談

NPO 法人ユニバーサル・ケアが運営する成年後見常設相談所「市民後見センターきょう」は、パソコンにウェブカメラとマイクを接続し、パソコン上から成年後見制度について対面方式で相談できるシステムを新規に導入。「成年後見ネット・ライブ相談」サービスとして 9 月 15 日より開始。

「成年後見ネット・ライブ相談」サービスは、株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)の全面的な技術支援を得て実現。SOBA プロジェクトのビジュアルコミュニケーション基盤技術「SOBA Web API」を同センターの Web サイトに組み込んだシステムによって提供される。「同センターによる成年後見ネット・ライブ相談は、福祉分野では全国的にも初めてだ。」(SOBA プロジェクト)

成年後見制度に関して相談する場合は、まず同センターの Web サイトにアクセスし事前に予約することで、ID とパスワードが発行される。そして、相談当日に指定された URL からログインを行うことでネット・ライブ相談が行えるサービス内容になっている。毎週水曜日から土曜日の午前か午後の同センターが定めた時間に、無料で相談を受けられるようだ。



成年後見ネット・ライブ相談サービス



システム構成

市民後見センターきょうには、毎月全国から電話やメールで多数の相談が寄せられるが、その大半の相談者は、自分の住む地域で身近な相談施設や支援機関がないと問題を指摘するそうだ。そのため成年後見ネット・ライブ相談サービスは、ビジュアルコミュニケーション技術を使うことで、お互いの顔がみえて身近に感じて安心して相談できるサービスを開始した。また映像を使った相談サービスを全国どこからでも受けられるサービスを提供することで、成年後見制度の利用面での地域格差の解消にも貢献できると考えた。

まず本年度は、京都府の北部や南部の各市町に同シ

システムを利用できる拠点を設置し、サービス体制の拡充を計画しているとともに、行政や金融機関、医療・介護サービス機関などにも同システムの利用を働きかけていく。SOBA プロジェクトとしては、今回を契機に、福祉・介護等の分野においても、SOBA 技術の利用拡大を図りたいと考えている。

* 市民後見センターきょうと

<http://www.kyoto-koken.net/>

セミナー・展示会情報

**Adobe Connect 新バージョン紹介セミナー
オンデマンドとリアルな e ラーニングを実現する
Connect の進化に刮目！**

日時:10月9日(木)14:00~16:15 (開場 13:30~)

会場:アドビ システムズ株式会社 会議室(東京品川区)

主催:株式会社大塚商会

協賛:アドビ システムズ株式会社/NEC システムテクノロジー株式会社

詳細・申込:<http://event.otsuka-shokai.co.jp/08/1009adobe/>

ITpro EXPO 2008 Autumn

日時:10月15日(水)-17日(金)

会場:東京ビッグサイト 東 4-6 ホール、会議棟

主催:日経BP社

内容・申込:<http://itproexpo.jp/>

*ビジュアルコミュニケーションパビリオン、講演あり。

基調講演はシード・プランニング(テレビ会議/Web 会議の活用実態と今後の製品動向)。講演企業は、ソニー(ソニーマーケティング協賛)。

展示会出展企業一覧；

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/2008a/exhidir/index.shtml>

PUG Conference 2007(Polycom User Group)

日時:10月19日(日)-22日(水)

会場:アメリカ フロリダ

主催:ポリコム・ユーザー・グループ

詳細:<http://www.pug.com/>

* ポリコムのユーザーカンファレンス&展示。

Wainhouse Research CSP Summit - Boston 2008

日時:10月27日(月)

会場:アメリカ ボストン

主催:Wainhouse Research, LLC

詳細:<http://www.wainhouse.com/cspsummit/>

IMTC 2008 Forum

“ Technology Meets Customer Needs –
Unified Communications Supporting Business.”

日時:11月12日(火)-13日(木)

会場:St. Regis Hotel、サンフランシスコ

主催:IMTC(International Multimedia Telecommunications Consortium (IMTC))

詳細・申込:

http://www.imtc.org/events/2008_11_12_fall_forum.asp

InfoComm Asia 2008

日時:11月19日(木)-21日(土)

会場:香港、the Hong Kong Convention & Exhibition Centre

主催:InfoComm Asia Pte Ltd.

詳細:<http://www.infocomm-asia.com/>

*会議システム関連のパビリオンも設置予定。(IMCCA 主催)

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

次回も宜しく願い致します。

CNA レポート・ジャパン 代表 橋本 啓介